

令和元年6月20日現在

機関番号：13501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2018

課題番号：16K00781

研究課題名（和文）歴史的集落・町並みの保存・継承を担う次世代育成プログラムの開発に関する研究

研究課題名（英文）Study on the next generation development program of responsible for preservation and inheritance activities at the historic landscapes of villages and towns

研究代表者

田中 勝（TANAKA, Masaru）

山梨大学・大学院総合研究部・教授

研究者番号：70202174

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：歴史的集落・町並みを保存し生活文化を継承していくためには町並み保存活動を支える担い手の育成が必要である。本研究は全国117ヶ所の重要伝統的建造物群保存地区を対象に、町並み保存活動や学校・自治体・NPO等の多様な主体の連携と協働による町並み学習など次世代育成の取組を明らかにすると共に、町並み保存学習教材としての民家ペーパークラフトの開発と授業実践、町並み保存の海外先進都市調査等を行い、歴史的集落・町並みにおける効果的な次世代育成プログラムについて検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

歴史的集落・町並みの保存問題は建物の物的側面や保存技術にかかわって研究が進められてきた。地域の歴史や生活文化への関心が高まる中、歴史的集落・町並みの保存・継承のためには地域住民の理解と主体的参加が重要になってきている。重要伝統的建造物群保存地区の選定数は増えているが、一方で、住民の高齢化、空き家の発生、町並み保存の担い手不足等の問題は町並み保存活動の継承を困難にしている。こうした社会的課題を踏まえ、本研究は学校教育との連携、具体的には住教育の視点から町並み保存問題にアプローチしたものであり、教材開発や次世代育成プログラムなど地域の個性を生かした多様な連携と協働による取組の可能性を提示している。

研究成果の概要（英文）：In order to preserve and pass on historical villages, streetscapes and living cultures, it is necessary to foster the next generation to support preservation activities of the historic landscapes of villages and towns. In this study, we clarified the approach of development of the next generation by historical townscape learning by cooperation and collaboration among diversified actors such as schools, local governments, and civil groups for the 117 Important Preservation Districts for Groups of Historic Buildings in the whole country. In addition, we developed three types of paper crafts as townscape preservation learning materials, and practiced classes using them. Based on the above, we examined an effective program for development of the next generation that supports the preservation activities of the historic landscapes of villages and towns.

研究分野：住居学（住教育）、建築学（住宅問題・都市計画）

キーワード：歴史的集落・町並み クラフト 授業実践 重要伝統的建造物群保存地区 町並み保存 住教育 次世代育成 民家ペーパー 協働

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建地区と略す)に代表される歴史的集落・町並みを保存し、あわせて住民の暮らしと共に育まれてきた豊かな生活文化を次世代へ継承していくためには、町並み保存活動への理解と住民の主体的参加が欠かせない。しかしながら重伝建地区では住民の高齢化や町並み保存活動の担い手不足が指摘されており、持続可能な町並み保存のためにはひとつづくり、すなわち次世代育成に力を入れていく必要がある。とりわけ、歴史的集落・町並みを題材とした学校教育の実践への期待は大きく、地域における多様な主体の連携と協働による学び合いや実践が今、求められている。

### 2. 研究の目的

本研究は歴史的集落・町並みの保存や生活文化の継承を支える担い手育成を目指して、全国117ヶ所の重伝建地区を対象に、重伝建地区制度創設以降約40年間にみる住民主体の町並み保存活動の成果と課題、地域と学校との協働による町並み保存学習の多様な実践と教材開発、他地域との異文化交流による町並み保存・継承の担い手づくりという3つの視点から、町並み保存の次世代育成プログラムの開発につなげていこうとするものである。

### 3. 研究の方法

本研究は平成28年度から平成30年度までの3ヶ年で実施した。以下に示すとおり、次世代育成プログラムの開発のために全国規模のアンケートとモデル地区での詳細調査を組み合わせた実証的アプローチに方法論上の特色がある。また、前科研費研究での課題となっていた町並み保存の海外先進都市調査も行った。

#### 重伝建地区の町並み保存に関する動向調査

インターネット調査のほか保存対策基礎調査報告書、新聞、郷土資料等の文献調査を行い、歴史的町並み・集落の保存に関する各種取組を把握する。また、自治体による異文化交流プログラムや海外の町並み保存の先進都市調査も実施する。

#### 重伝建地区の町並み保存活動と次世代育成の取組調査・分析

全国117ヶ所の重伝建地区を対象に、重伝建地区内及び周辺の小・中・高校における町並み保存学習の授業実践内容を把握するためのアンケートを行う。また、モデル地区においては活動内容の現地調査に加えて自治体(教育委員会)・町並み保存団体・建築士等の専門家への聞き取り調査を行い、重伝建地区の特性を生かした町並み保存や次世代育成のための取組内容を具体的に把握する。

#### 町並み保存学習の教材開発と評価

町並み保存学習のためのツールとして、重伝建地区内の民家等をモデルにした民家ペーパークラフトを開発する。また、モデル地区内の学校の協力を得て民家ペーパークラフトを活用した町並み保存学習の計画・実践・評価を行い、次世代育成プログラム開発に向けた課題を抽出する。

#### 海外先進都市における町並み保存の事例調査

海外における町並み保存の先進都市を対象に歴史的建造物保存の取組を調査する。

### 4. 研究成果

本研究では重伝建地区に代表されるわが国の歴史的集落・町並みを保存し、住み手の生活文化を継承していくためには、町並み保存の担い手づくり、すなわち次世代育成が重要との立場から、そのための有効なプログラム開発を目指したものである。主な研究成果を整理すると次のようである。

重伝建地区を対象とした全国規模の調査により学校教育における歴史的集落・町並みを題材とした学習の実践例を詳細に把握することができた。また、いくつかのモデル地区において、学校・自治体・地域・NPO法人等との連携と協働による多様な町並み保存学習の実践を明らかにした。町並み保存の担い手育成は、各主体が単独で行うよりも、多様な主体による多様な連携や協働が地域に根ざした豊かな学びにつながっていくことが確かめられた。

伝統的建造物をモデルにした民家ペーパークラフトを新たに3種類開発し、それらを使った町並み保存の授業実践を試みた。民家ペーパークラフトは子どもたちの歴史的集落・町並みへの興味・関心を誘発し、主体的な学びにつなげていくことに有効なことが確かめられたが、町並み保存の次世代育成のための教材として効果的な活用を図っていくための条件整備について、引き続き学校での授業実践を重ねて検討していく必要がある。

重伝建地区の町並み保存に関する一連の科研費研究のなかで今回、町並み保存の海外先進都市としてローテンブルク市の調査を行った。町並み保存では行政による積極的な取組と同時に、住民の理解と実践が大きな意味をもつことが明らかとなった。

以下、平成28年度から3年間の主な研究成果を示す。

#### (1)重伝建地区の町並み保存に関する動向調査(国内及び海外)

全国117ヶ所の重伝建地区を対象に現地調査、文献調査、インターネット調査を行い、自治体・学校・町並み保存団体・地域等の連携・協働による町並み保存活動や町並み保存学習の取組を把握した。また、町並み保存の担い手育成を目的に海外都市と交流を続けている愛媛県U町について青少年海外派遣事業報告書等の分析を行い、その効果を検討した。

## (2)重伝建地区の特性を生かした次世代育成の多様な実践

歴史的集落・町並み保存のための次世代育成の具体的取組を明らかにするため、岐阜県白川村、佐賀県鹿島市、大分県杵築市をモデル地区に選び、現地調査を継続的に実施し、重伝建地区の特性を生かした次世代育成の実践を明らかにした。

### 岐阜県白川村

S小学校では村教育委員会と連携し、ふるさと学習の一環として、4年生では総合的な学習の時間を使った「合掌家屋を造ろう!」の授業実践を行なっている。村教育委員会職員や村内茅葺き職人を外部講師に招き、合掌づくり屋根キットを利用して合掌造りの構造、組み立て方、ハコ巻きやネソネリなどの伝統技術を体験する授業である。この体験を通して子どもたちは世界遺産の合掌集落や合掌文化の保存・継承の意義を考え、自らもこれに関わっていこうとする態度を育んでいる。

### 佐賀県鹿島市

毎年5月開催の「肥前浜宿スケッチ大会」には佐賀県内やその周辺から多くの参加者があり、肥前浜宿の歴史的町並みの中からお気に入りの場所を選んで描いている。町並みの観察は新たな気づきを促し、地区への愛着を育む活動につながっている。応募作品の公開審査は肥前浜宿の魅力や町並み評価の多様な視点を学ぶ機会にもなっていた。また、10月開催の「肥前浜宿秋の蔵々祭り」にあわせてH小学校では、4年生の総合的な学習の時間を使って約半年間、「肥前浜宿のガイド名人になろう!」の授業を実践している。班に分かれて調査テーマを決め、学校から飛び出し地域の人々と交流しながら情報・資料を集め、整理・分析し、重伝建地区内の建物の歴史や暮らしの文化をまとめていく。一連の学習成果は祭り当日に子どもガイドのかたちで観光客の前で披露される。学んだことや伝えたいことを分かりやすく他者に伝える子どもガイドの実践は、子どもたちのふるさとや町並みに対する愛着や誇りを育み、学校と地域との連携による町並み保存の次世代育成のモデル的な取組となっている。

### 大分県杵築市

杵築市では杵築市ふるさとアカデミー実行委員会が中心となり、町並み保存の担い手育成の一環として「きつき子ども歴史ガイド」に取り組んでいる。これは城下町地区まちづくり協議会がガイド部門として主催するもので、探検隊部門の「きつき子ども歴史探検隊」検定試験で三つ星博士を取得した小・中学生の中から子どもガイドを募り、毎週土曜日午後には城下町地区を案内するものである。市教育委員会が地域のまちづくり団体と連携し、豊かな文化遺産を活用してふるさと意識を育もうとする実践である。こうした子どもガイドは大分県内だけでも多様なスタイルがあり、今後も調査を継続していく必要がある。

## (3)町並み保存学習の教材開発

町並み保存の担い手育成のための学校教育教材として民家ペーパークラフトの開発を行った。身近な地域の民家や町並みについて、子どもから大人までだれもが楽しく学べるようにと考えたからである。科研費によってこれまでも各地の代表的な民家をモデルにしたペーパークラフトを開発してきたが、本研究においても重伝建地区内に建つ伝統的建造物等を縮尺1/100のペーパークラフト(折り紙模型キット)で再現することとした(写真1)。

平成28年度は佐賀県鹿島市浜庄津町浜金屋町重伝建地区内の茅葺き民家「南舟津の茅葺き三棟」(旧池田家住宅・旧中島家住宅・旧中村家住宅)を取り上げた。鹿島市内の2つの重伝建地区の内、この地区は江戸時代から鹿島藩の港町として庶民の生活の場となっていた。三棟は多良街道から少し入った狭い路地と水路沿いに建っており、平成21年度に建築当時の明治初期の姿に復元修理された。また平成30年度には、平成29年度に重伝建地区に選定された杵築市北台南台重伝建地区内の「大原邸」(大分県指定有形文化財)をモデルに「大原邸ペーパークラフト」を開発した。江戸時代後期の武家屋敷である大原邸は重伝建地区の町並みに加えて、杵築藩上級武士の当時の暮らしや生活文化を学ぶのに格好の教材と考えた。



写真1 民家ペーパークラフト  
(左から、「南舟津の茅葺き三棟」、「大原邸」、「旧遠山家住宅(改訂版)」)

学校教育現場で活用しやすい民家ペーパークラフトとするために、平成29年度は過去に開発したペーパークラフトの改良を行った。具体的には平成24年度科研費(研究代表者:小川裕子

静岡大学教授)で開発した「旧遠山家住宅ペーパークラフト」の改訂版を作成した。これは既存ペーパークラフトでは建物規模や構造上の理由から部品数が多く、仕上がり精度を優先したためにスリット等の難易度の高い作業が含まれてしまったこと等を改善する必要があり、また平成 26 年度から平成 27 年度にかけて旧遠山家住宅の保存修理工事が行われたことから工事後の建物現状に合わせて表現内容を修正する必要が生じたためである。旧遠山家住宅ペーパークラフト(改訂版)では組立方法の全面的な見直しを行い、スリットを用いないこと、部品数を少なくすることなど組立方法の単純化を図った結果、従来版と比べて完成までの所要時間を 1 時間程度短くすることに成功した。

#### (4)民家ペーパークラフトを活用した町並み保存学習の実践

民家ペーパークラフトを活用した授業を各地で実践し、町並み学習の効果や次世代育成のためのプログラム開発に向けた課題を検討した。授業実践は、ユニークな町並み学習に取り組んでいる佐賀県鹿島市 H 小学校、岐阜県白川村 S 小学校等で行った。

##### H 小学校での実践例

鹿島市及び地元 N P O 法人と連携して H 小学校 4 年生の総合的な学習の時間に「山口醤油醸造場ペーパークラフト」(平成 27 年度科研費研究成果)を使った授業を実施した(平成 28 年度)。子どもたちは学校に隣接する重伝建地区の町並みを構成する山口醤油醸造場をモデルにした初めての紙模型づくりに戸惑いながらも楽しそうに取り組んでいた。授業を通して地域の伝統的な建物の構造や間取りの理解を深め、先人の知恵を学び、伝統的な建物や町並みを守っていくことの大切さを考える貴重な時間となった。平成 29 年度には 5 年生の総合的な学習の時間において「南舟津の茅葺き三棟ペーパークラフト」(平成 28 年度科研費研究成果)を使った授業を実践した。この授業では授業時数の短縮を図るため、3 人 1 組で 1 つの模型を組み立てるスタイルを初めて導入した。授業後の感想文等の分析から、ペーパークラフトを活用した体験的な町並み保存学習を地域や自治体と連携して実践することは子どもたちのふるさと意識を育むのに効果的であることがわかった。



写真 2 ペーパークラフトを使った授業実践

##### S 小学校での実践例

S 小学校 4 年生の総合的な学習の時間の中で「旧遠山家住宅ペーパークラフト」を組み立てる授業を実践した。旧遠山家住宅は白川村の大家族制研究のモデルとなった合掌造り民家として知られ、昭和 46 年に重要文化財に指定された。S 小学校と旧遠山家住宅とは 10 キロほど離れており、子どもが自由に行き来できる距離ではない。旧遠山家住宅ペーパークラフトづくりは 4 年生にはやや難しかったが、作る過程を通して、子どもたちは建物のかたちやスケール感を肌で感じ、現代住宅とは異なる合掌造りの構造や間取りを詳しく知ることができた。合掌集落や合掌文化の保存・継承の担い手育成を考えていくうえで、この授業と既存の「合掌家屋を造ろう!」の授業を組み合わせること一つの選択肢として考えられよう。

##### その他の実践例

過去の科研費等で開発した各地の民家ペーパークラフトを教材として、新潟県 T 高校、大分県 S 高校、山梨県 K 高校、同 F 高校等で家庭科の授業が行われた。生徒の感想文や担当教師の授業評価等を分析した結果、地域の住まいや町並みについての生徒の興味関心を引き出し、深い学びにつなげていくことに成功していた。

このように民家ペーパークラフトを活用した町並み保存学習は授業時数の確保やサポーターの協力などの条件さえ整えば町並み保存の担い手育成に効果があり、学校・自治体・地域・大学等の連携と協働による町並み保存学習の一手法として他の地域でも応用可能と判断した。

#### (5)重伝建地区を活用した町並み保存学習の実践

全国 117 ヶ所の重伝建地区内及び周辺に立地する小・中・高校計 506 校を対象にアンケートを実施した。内容は平成 27 年度調査と同一とした。学校教育において重伝建地区を活用した学習がどのように行われているのか、また町並み学習を通して子どもにどのような力をつけさせたいと考えているのか、学校種、教科、授業の目標、活動内容、外部講師の活用、授業前後の子どもの変化など授業の実態を全国規模で詳細に把握した。アンケート回収数は 201 票で、有効回収数 197 票(有効回収率 38.9%)について集計・分析を行った。

平成 29 年度に総合的な学習の時間、社会科、家庭科、生活科等の授業で重伝建地区の民家・町並み・集落・まちづくり等を題材に授業を実践した学校は全体の 53.8%であった。この割合は 4 年前の調査結果とほぼ同じ数字であった。実践した教科としては「総合的な学習の時間」の活用が最も多く 73 校、次いで「社会科」30 校であった。校種別には小学校から高校まで幅広く実践されていた。学習範囲は「重伝建地区全体」と回答した学校が 80 校、「地区内の特定の建物・施設」と回答した学校が 39 校であった。学習活動の内容をみると、最も多かったのが「町

並み・集落の散策」(81校)で、次いで「民家・施設等の見学」(56校)、「写真撮影」(49校)、「聞き取り」(48校)となった。「マップ・絵地図づくり」、「パンフレット・ガイドブック作成」、「町並み・集落ガイド」、「伝統行事への参加」など、学習成果の発信や地域との交流に積極的に取り組んでいる学校もみられた。重伝建地区を題材にした学習の成果については「十分な成果が得られた(目標が十分に達成できた)」という学校が41%を占め、多くの学校で一定以上の成果を獲得していた。

一方、重伝建地区を題材にした学習を実践しなかった学校についてその理由をみると、教育課程の変更や授業時数の確保が難しいこと等が挙げられた。

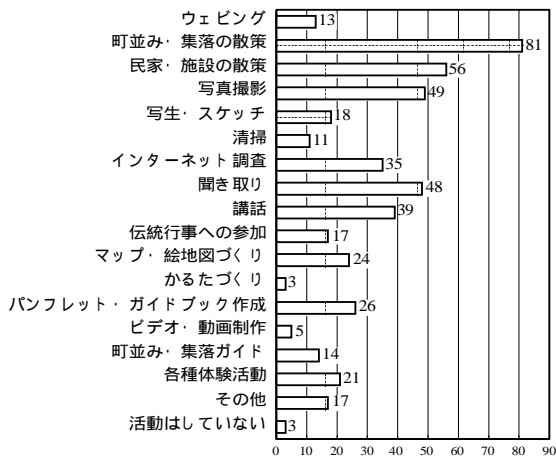


図1 重伝建地区を題材にした学習活動(複数回答)

#### (6)先進都市における町並み保存の取組

歴史的集落・町並み保存の担い手育成に関する国際比較のため、ローテンブルク市(ドイツ)で現地調査を実施した(平成30年度)。ローテンブルク市は愛媛県U町の青少年海外派遣事業による訪問使節団を平成7年から受け入れ、さらに平成23年には姉妹都市盟約を締結するなど町並み保存の交流を続けている。

ローテンブルク市役所では城壁内市街地における町並みや歴史的建造物の保存に対する法制度、具体的な建築規制、組織・体制、学校における町並み学習の取組状況等について担当者から聞き取り調査を行った。城壁内では条例に沿った厳しい建築制限の適用により良好な町並みの形成・維持が行われていたが、観光客の増加、マンパワーの確保など新たな課題への対応が求められていることがわかった。次に、城壁内市街地に残る旧ユダヤ人街の住居(Judengasse 10, 12, 1409年頃建築)の内部を見学し、バイエルン文化遺産協会による歴史的建造物の保護・修復状況を調査した。建物内の地下にはミクヴェ(沐浴場)があり、上層階には家庭生活や社交のためのスペースを有するなど当時の暮らしを知ることができる状態にあった。学校教育における町並み保存学習については現地事情から調査を行うことはできなかったが、市役所担当者の話によれば特別な教育は行われていないとのことであった。



写真3 歴史的建造物の修復現場

#### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計2件)

田中勝、民家ペーパークラフトを活用した地域の住まい学習 その1 住教育教材としての民家ペーパークラフト、住宅(日本住宅協会) 査読無、66(11)、2017、54-60

延原理恵、碓田智子、田中勝、佐藤慎也、まちづくり物語のテキスト分析を通じた地域社会のつながり形成に関する研究 村上市の町おこし物語における地域資源の働きを可視化して、日本建築学会住宅系研究報告集、査読有、11、2016、75-82

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

〔その他〕

田中勝、大原邸ペーパークラフト、山梨大学教育学域田中研究室、2019.3

延原理恵、碓田智子、田中勝、佐藤慎也、曲田清維、地域社会の「つながり」を育む住まい・まちづくり学習の実践モデル、2018.3、全24頁

田中勝、旧遠山家住宅ペーパークラフト(改訂版)、山梨大学教育学域田中研究室、2018.3

田中勝、「鹿島・浜小 茅葺き家屋 模型で作成 町並み保存 折り紙で学習」、佐賀新聞、2017.6.18

田中勝、「鹿島の伝統建築 模型に 山梨大の田中教授 茅葺き3棟 折り紙で再現」、毎日新聞、2017.5.26

田中勝、「折り紙で茅葺き3棟模型 鹿島市浜町の旧家 山梨大院の田中教授が制作」、西日本新聞、2017.5.19

田中勝、「伝統的建造物 紙の模型 第2作 家の特徴「気付いて」 浜町の茅葺き民家3棟」、佐賀新聞、2017.5.17

田中勝、「南舟津の茅葺き三棟（旧池田家住宅・旧中島家住宅・旧中村家住宅）ペーパークラフト、山梨大学教育学域田中研究室、2017.3

田中勝、「伝統建築 模型で再現 鹿島市の山口醤油醸造場 浜小児童、折り紙で挑戦」、西日本新聞、2016.7.12

田中勝、「鹿島の酒蔵通り 伝統の醸造場 紙模型で再現 浜小の4年生挑む」、朝日新聞、2016.7.11

田中勝、「民家模型作り 特徴語り合う 甲府城西高」、山梨日日新聞、2016.5.7

田中勝、「伝統建築ペーパークラフトに 山梨大・田中教授がキット開発」、山梨日日新聞、2016.4.16

田中勝、「山口醤油醸造場 折り紙使い再現 山梨大大学院の田中教授」、西日本新聞、2016.4.6

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

なし

### (2) 研究協力者

なし

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。